

---

# 小さな紙切れ

孤独

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

小さな紙切れ

### 【Zコード】

N8471A

### 【作者名】

孤独

### 【あらすじ】

小さい頃たまにやつた遊びです。とても普通に書きました。

子供の頃母親に一枚の紙切れを渡された。

「なにこれー」

「開いてじらん」

紙切れを開くとそこには、

『きんぎょがあやしい』

とあった。

「きんぎょがあやしい?」

「そう、金魚の所に行つてみな」

そう言われ訳もわからず金魚のいるコンビングに行く。

金魚をよく観察するが、これと云つて変わった様子もない。

続いて周りを見る。

すると

白い紙切れ

が、金魚鉢の下に挟まっていた。金魚鉢をどけてその紙を手に取つて開いて見た。

## 『トイレがあやしい』

トイレが、行ってみよ。  
そしてトイレのドアを開ける。

中は一般的な洋式トイレがあるだけだった。しかし、先程のこともあるので入念に辺りを探索する。

すると

「あつた！」

トイレットペーパーとそれを支えるホルダーの間に紙切れを見つけた。

## 『くまがあやしい』

ここで何と無く意味が分かつてきた気がした。  
そう、紙切れのヒントを便りに次の紙切れを探す。小さな子供でも  
すぐに馴染める遊びだ。

意味を理解した途端、とてもワクワクしてきた。

(せつたいぜんぶみつけやるー)

そう決心するほどだった。

熊と言えば、昨年買った大きな熊の標本がある。というか、熊

はそれしかない。

そう思いながら熊の置いてある部屋へと向かつ。

案の定熊の口の中に紙切れが挟まっていた。

口の中とこいつ」とだけあって少し怖かったが勇氣を出して紙切れを  
とる。

この熊の標本、高かつたといっていたが、どれだけの金額で手に入  
れたのだらうか・・・。

「どうでもいいことか。

紙切れには

『れいぞり』があやしい  
とあつた。

そして冷蔵庫へと向かう、  
台所には晩御飯を作つていてる母がいた、一見けりを見てニシ「コソと笑  
つてくれた。

冷蔵庫は見た瞬間に分かつた。磁石で白い紙切れが挟んであったの  
だ。それをとつて開くと

『くつがあやしい』

とあつた。

(次は靴かー)

そう思いながら玄関へ向かう。そこには、母の靴と自分の靴と、下駄箱があつた。靴を探したが紙切れは見つからない、下駄箱にもなかつた、靴の底も見たが、なかつた。

「おかしいなー、くつってここにだよね・・・あー！」

台所に裏口があり、そこに靴があつたはずだ。

そつ思い裏口に走る。

「あつた！」

靴の中に紙切れはあつた。

この時は見つけたという達成感が大きかつた。

そこには

《あいことばは

だよ》

みつけた  
とあつた。

(みーつけた?)

意味が分からなかつたがとりあえず母の元へ行く。

「おかあさん、みーつけたってなにー?」

「全部見つけたんだね、はい、『褒美だよ』

「あらがとう!」  
そいつ聞いて一つのキャンディーをくれた。

そう言って晩御飯前ではあるが飴玉を口へ放り込んでみた。

この時の飴は一つもの飴よりも甘かった

そんな気がした

小さな紙切れはきっとあなたに幸運をもたらしてくれるでしょう。

(後書き)

小さご頃の思い出を小さな範囲で書いてみました。これはとてもワクワクしましたよ(^-^)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8471a/>

---

小さな紙切れ

2011年1月19日22時46分発行